

ビジネスアイデアの概要

近年，毎年のように大雪による被害が報道されている。しかし，除雪は人力に頼らざるを得ないうえ，大雪被害を受ける地域の過疎化や高齢化による二次災害の発生が課題である。また，都市部においてもセンサーカメラや信号機なども着氷による誤動作，視認性の低下が課題である。これらを安価な透明ヒーターで雪を溶解し，再凍結を防止できれば雪国で暮らす人々に安全で快適な生活を保障できる。他にも利用可能な大型のフレキシブル透明導電膜の形成技術の事業化を目指す。

ビジネスアイデアを事業化するための課題

- ・溶液のスケールアップの検証
- ・ファストカスタマー獲得に向けた市場調査
- ・ロールtoロールによる成膜
- ・適用可能分野の検証
- ・実機レベルでの発熱特性や抵抗評価

事業化の見通し

ロールtoロールで成膜・試作して，実験室レベルと同等の性能を示すか検証する。また，形成した膜の特徴を活かせる分野を探索・検証する。その検証後，実機で評価して，それらの評価結果を基にエンドユーザーへのヒアリングを含め事業化を目指す。

事業者情報

工学院大学先進工学部応用物理学科
永井 裕己

チームメンバー
佐藤 光史（技術顧問）
鈴木 達也（研究員）

ビジネスアイデア概要図等

